

# 人権アラカルト

すべての人が、幸せになる権利を持っています。

人権について、身近なこと、小さなことから、始めませんか？

## プランク (いたずら)

最近、インターネットの投稿には様々なものがあると、本当に感心しています。「へえ、そうだったのか」と納得したり「それは違うだろう」とつぶやいたり、涙が出るほど感動したりするものもあって、つい夢中になって見てしまいます。

しかし、「これは絶対いかんだろう」と思った動画がありました。「プランク」というもので、日本語では「いたずら」の意味ですが、ここでは「ドッキリ」の方が分かりやすいかもしれません。そのプランク動画で、中東系の民族衣装（ほぼ全身を白い布などで覆っている）を着た人が、道行く人やベンチに座っている人に向かって爆弾を模した物や、爆弾が入っていると思わせるバッグを投げつけるものがありました。テロにおびえる心理を利用していますが、「中東系の人を馬鹿にしていなか」「民族衣装を着ている人々への差別を助長しないか」と非常に気になりました。日本人の感覚としては、なんだか嫌な気分になる、いや、許されないとさえ感じます。「笑っていたのが驚かせた側だけ」というのも不愉快な感じでした。

ところが、海外の人にとってテロは身近な問題であり、これはその思い込みをうまく利用していると、意外にも評価されている面もあるそうです。実際、このような動画はたくさん投稿されており、削除もされていません。「日本人の感覚とはずいぶん違うよ」とつぶやくも、「歴史も文化も今の生活環境も違うのだから、日本的な価値観で判断するのはおかしいよ」と家人は諭します。「なるほど、そういったものか」と言いながらも、やはり私の「納得」は遠く彼方にあります。

そんな中、ある日本発のプランク動画を見て少し安心しました。伝統的日本家屋の前や神社仏閣の参道等で、甲冑を身に着けた人や忍者の衣装の人が、まるで人形のように静かに突っ立っていて、人々が通りかかると、突然動き出して驚かすという動画です（ただし、高齢者や障害のある人は脅かさないというルール）。人形だと思っていたものが動き出すことで、人は初め大変驚きますが、その後は一緒に笑います。写真を撮ったりもします。騙されても誰も怒らない、誰も尊厳を傷つけられたなどとは思わない「ドッキリ」です。この動画を見た海外の人々も「これは素敵なプランクだね」「日本に行ってみたくなった」というグッドな評価をしてくれています。

「偏見を基にしたいたずらは許されない」「差別を助長させない」「いたずらでもみんなが笑えるものもいい」そういった感覚が海外にもありそうで、私は何だか心底ほっとしたのです。

